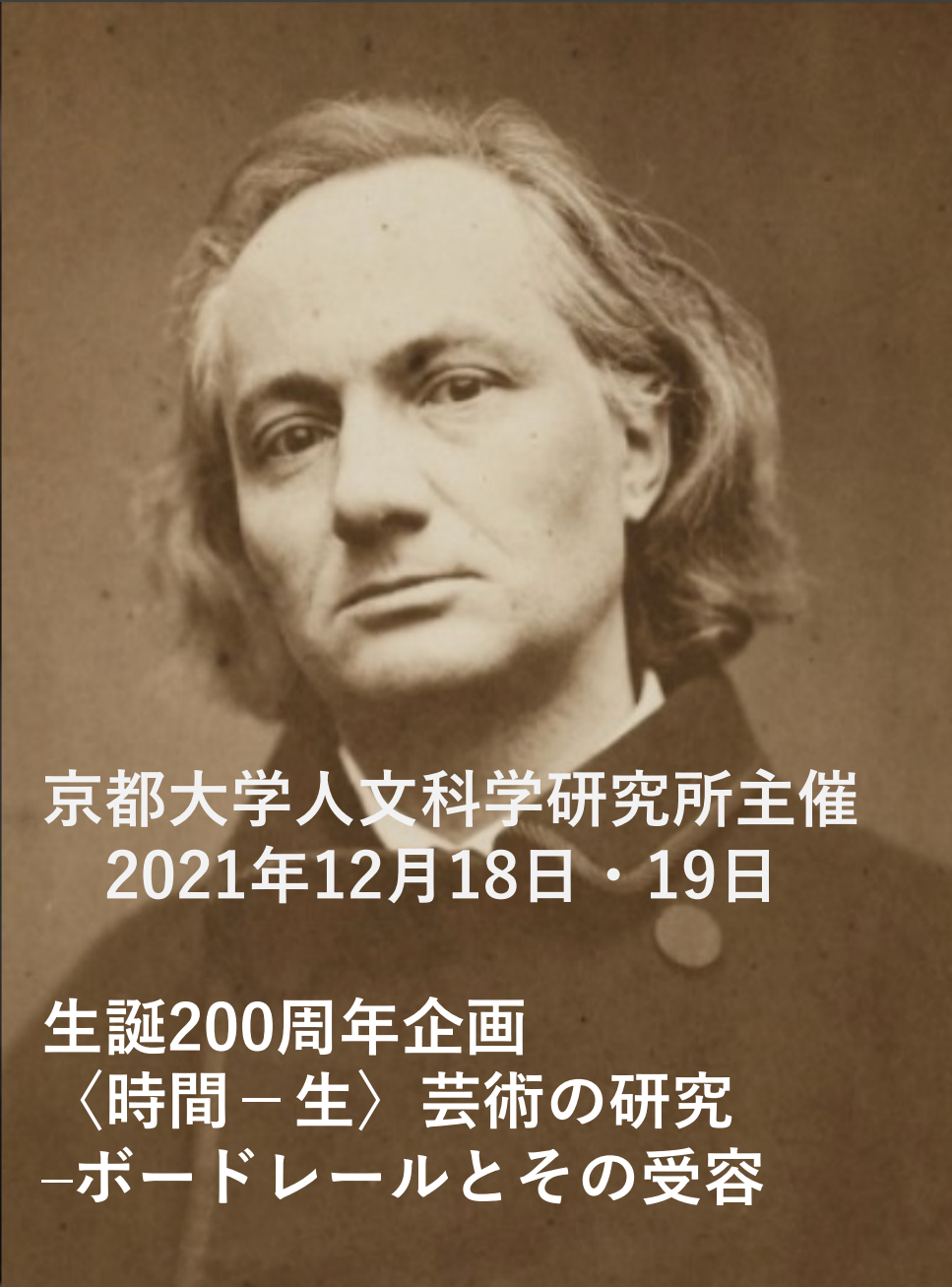




京都大学人文科学研究所主催
2021年12月18日・19日

生誕200周年企画
〈時間－生〉芸術の研究
－ボードレーとその受容

12月18日（土）

はじめに [13:00-13:15] （小倉康寛）

I. ボードレール研究（司会：廣田大地）

司会者より [13:15-13:20]

清水まさ志「『人工樂園』における時間と空間」 [13:20-14:15]

廣田大地「タイムマシン・ボードレール」 [14:25-15:20]

佐々木稔「ボードレールにおける『現在の表現』とジャーナリズム」 [15:30-16:25]

小倉康寛「渇きと時間 -- 分裂と『悪の花』のコラージュ」 [16:35-17:25]

II. その受容と広がり（司会：坂巻康司）

司会者より [17:40-17:45]

鳥山定嗣「ボードレールとヴァレリー -- 『蛇』をめぐる変奏」 [17:45-18:40]

ディスカッション [18:40-18:55]

12月19日（日）

前日のまとめ [13:00-13:10] （小倉康寛）

II. その受容と広がり（続き 司会：坂巻康司）

司会者より [13:10-13:15]

中畑寛之「ボードレールが終わったところから始める -- マラルメ の文学的<生>について」 [13:15-14:10]

III. 哲学、音楽、作家（司会：森本淳生）

司会者より [14:20-14:25]

服部敬弘：「瞬間と疲労--初期レヴィナスにおけるボードレール解釈」 [14:25-15:20]

青柳いづみこ「『万物照応』、ドビュッシーとボードレールの時間」 [15:30-16:25]

平野啓一郎「多様性と『生命力の移動』」 [16:35-17:30]

ディスカッションとまとめ [17:40-17:55]

ごあいさつ

2021年にシャルル・ボードレール（1821-1867）は生誕200周年を迎えます。さまざまな関連イベントが開かれると思いますが、ここでは「時間」をテーマとして、2日間のシンポジウムを開催します。

マラルメ、ヴァレリー、ドビュッシー、レヴィナスと幅広く視野を広げ、さらに、作家の平野啓一郎氏にも御登壇をお願いし、多角的にボードレールの位置を考えたいと思います。

発表は1人50分内で、5分内の質疑応答時間を予定しています。時間が若干ずれることがあるかと思いますが、ご理解をお願いいたします。

開催方法について

本シンポジウムは対面とZoomの併用で実施します。

①対面：以下のアドレスまでご芳名を明記のうえ、12月17日までに、ご連絡ください。コロナ対応でスペースを確保するため、定員25名に達し次第、募集を締め切ります。申し込まれていない場合、申し込まれた方を御優先することになりますので、ご承知おきください。

事務局： 2021.baudelaire@gmail.com

②オンライン：以下のリンクから事前登録をお願いいたします。ご登録いただくと、Zoomから自動で視聴用URLが送付されます。一度のご登録で、18日と19日のいずれもご視聴になれます。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_IUHDSe7nQiilwNg6rJH-sQ



場所：人文科学研究所本館 4F大会議室
土日のため、1Fドアの解錠時間が12時45分から1時半に限られます。それ以外の時間の方は、申し込み時に事務局へご連絡ください。ドアを開けに伺います。恐縮ですが、待機する関係上、12月17日までに、ご連絡くださいますようお願いいたします。

住所：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
市営地下鉄烏丸線 国際会館行 今出川駅まで
市バス201系統（百万遍・祇園行）「百万遍」下車
同203系統（銀閣寺・錦林車庫行）「京大農学部 前」下車

さらに詳しいアクセスは次をご覧ください。

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/access/access.html>

※ 京都駅から京都大学へは交通手段とダイヤによって違いますが、地下鉄の乗車時間のみでも25分かかります。そこから大学まで歩きますので、40分以上みていただけますようお願いいたします。